

宮城県原水協通信

Bulletin of the Miyagi Council against A&H Bombs

2018年11月
宮城県原水爆禁止協議会

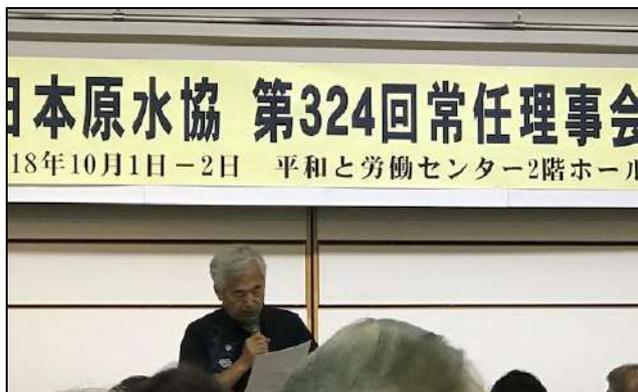
〒980-0022

仙台市青葉区五橋 1-5-13

Tel: 022-263-6650 Fax: 022-263-6651

10月1~2日 日本原水協 常任理事会 参加報告

事務局からの提案を受け、2日間に渡る討論を行い、大きく3項目①世界大会の成果と教訓 ②世界大会後の情勢と特徴点 ③当面の行動計画 が決定されました。



① 世界大会の成果

- 5ヶ国の政府代表の参加、発言
- 核保有国の参加者も運動前進の方向
- 総がかり行動やオール沖縄の参加
- 画期的な国際共同示す「国際会議宣言」

② 情勢の特徴

- 禁止条約が核保有国、NATO加盟国にも広がりつつある
- 朝鮮半島の非核化 9/18~首脳会談で具体的措置に合意
- 安倍政権への批判の広がり
- 沖縄県知事選での共同の勝利

③ 当面の行動計画

- 1, ヒバクシャ国際署名を国民的運動に
- 2, 日本政府に禁止条約批准を迫る

- 3, 朝鮮半島の非核化と平和体制構築
- 4, 9条改憲阻止、原発再稼働反対
- 5, 被爆者援護・連帯活動
- 6, 原水協の確率・強化
- 7, ちひろカレンダーの普及

**米がまた暴走！
日本は役割を果たせ！**

10月下旬、アメリカのトランプ大統領はロシア・中国の核開発が INF（中距離核戦力）全廃条約に違反しているとして、離脱を表明しました。また、昨年末、臨界前核実験を強行していたことも判明。日本原水協は抗議文を送付しました。

そのような情勢の中、国連総会第1委員会が開催されました。核兵器禁止条約の早期発効を焦点とした軍縮会議です。その中で、オーストリア、メキシコ、アイルランドなど条約推進国は、禁止条約の早期発効に向けて新たな決議案を準備するなど奮闘しています。それに反して日本政府の決議案は今回も核兵器禁止条約にふれておらず、被団協から批判があがっています。平和的リーダーの役割を果たすのは一体いつになるのでしょうか！？

＜署名集約状況＞ 10月31日現在
原水協 48,143 筆
（県全体 124,701 筆）

気仙沼市が、政府への 意見書提出を採択！

今年原水禁世界大会に参加した気仙沼の
Oさんから、嬉しいおはがきが届きました。

9月に市議との懇談会がありました。「なぜ核兵器禁止条約を批准するようにと政府に意見書を出さないのか？」と質問すると、議長さんが「即実行します。」と答え、1ヶ月後実際に意見書が採択されました。あまりにも簡単に採択されたので、拍子抜けしましたが、気仙沼で23年ぶりの原水禁世界大会参加と言うことで、今まで誰もこの問題について質問しなかったためのものでした。(中略) 私はこれからも気仙沼地区における原水禁活動のリーダーとして活動することを期待されています。自分なりに努力していきます。まず学習すること、そして仲間を増やすことが大事と、分科会での講演で学びました。

Oさんの決意が素晴らしいですね！働きかけが大事だと分かる報告でした。まだ未採択の自治体の皆さんも、いろいろな機会を利用して取り組んでいきましょう！

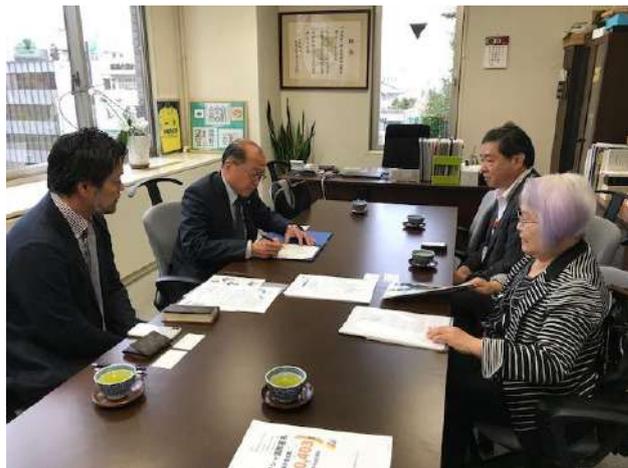
<今後の予定>

- 6・9行動 12/6(木)
12時10分～ フォーラス前
- 事務局会議 11/16(金)10時～
- 常任理事会 11/28(水)15時
- ヒバクシャ国際署名街宣
11/21(水)12時～ 平和ビル前
- ヒバクシャ国際署名連絡会会議
10/21(水)14時半～福祉プラザ

*前進座「ちひろ」11/28チケットあります！

ヒバクシャ国際署名連絡会 運動の報告

■ヒバクシャ国際署名連絡会では、署名を広めていくために、県内の著名人ポスター作成に取り組んでいますが、さっそくベガルタ仙台の西川善久社長が面談に応じてくださり、10月10日に事務局がベガルタの本社を訪問しました。



西川社長は、木村代表の被爆体験談にも熱心に耳を傾けていただき、さっそく署名用紙にサインしてくださいました。また、フロントの職員の皆さんにも呼びかけていただけるということで、署名用紙を預かってくださいました。残念ながら、スタジアム前での署名活動については許可をもらえませんでした。

ポスターへの顔写真掲載については、他のプロスポーツチームの社長の返答次第で検討したいとのことでした。「社長よりもチームの顔である監督の写真の方が良いのでは？」とアドバイスも頂きました。他チームも同意するようなら、監督に働きかけてくださるそうです。

■全自治体の4役(首長・副首長・議長・副議長)の署名集約をやりきるために、2回目の自治体訪問を行っています。またいくつかの議会には政府への意見書採択の再陳情も行います。